矢作川流域圏懇談会通信

R6 山部会編 vol.1

発　行　日：令和６年６月
編集・発行：矢作川流域圏懇談会 事務局

◆第６９回山部会WGを開催しました！

豊田市にて第 69 回山部会WGを開催いたしました。今回の WG は、第 14 期（R5.4～R6.11）の活動成果と今後の活動目標、テーマ別の活動進捗状況について話し合いました。

日　時：令和６年５月31日（金）　13：30～17：00
場　所：豊田市 旭交流館　中会議室
参加者：22 名（内オンライン参加２名）　※事務局を含む

◆主な会議内容

１．矢作川流域圏懇談会について（設立趣旨・規約）

今年度最初のWGであることから、矢作川流域圏懇談会の設立要旨・規約等について確認を行いました。
例年は年度末に実施する全体会議を区切りとして年度ごとの目標を設定していましたが、昨年度より11月に全体会議を実施しているため12月1日～翌年11月30日の1年を1つの期として整理することとしました。
今年は設立から15年目でありますが、昨年（14年目）は中間報告会としているため、第14期の継続中となります。

第 13 期：令和４年４月１日～令和５年３月31日（昨期）
第 14 期：令和５年４月１日～令和６年 11 月 30 日（今期）
第 15 期：令和６年 12 月１日～令和７年 11 月 30 日（来期）

２．今期の活動成果と今後の活動目標

・山部会が取り扱う4つのテーマを軸とし、それぞれのテーマごとに今期前半に実施した活動成果を振り返るとともに、今後の活動目標について出席者で確認を行いました。

３．テーマ別の活動進捗状況の報告

テーマごとに活動進捗状況及び今後の目標について、担当者より報告いただき、意見交換を行いました。

■流域圏担い手づくり事例集（豊田市矢作川研究所 洲崎 主任研究員）
・ 事例集は、これまで山村再生担い手づくり事例集４冊、流域圏担い手づくり事例集５冊の計９冊を作成しています。
・ 2021 年から、都市を巻き込んだ流域圏づくりにつながるプロジェクトを取材対象とし、プロジェクトを支える複数の方に話を伺って事例集を作成しています。昨年度は流域の問題が「海」に集約されているとの思いから、初めて海をテーマに取材を行いとりまとめました（事例集Ⅴ）。

＜事例集Ⅴ「伊勢湾・三河湾の豊かさを考える」の概要＞
・ 「海の恵みと変化」「海をつなぐ人々」「貧栄養化問題への取組」の章を設け、以下の方々の取材記録もしくは寄稿文をとりまとめました。・近藤朗（愛知・川の会）　・青木伸一（海部会座長）　・平賀大蔵（海の博物館館長）　・濱口幸子（海女）　・蔵治光一郎（山部会座長）　・中村欣一郎（鳥羽市長）　・岩尾豊紀（鳥羽市水産研）　・内藤美和（オフィス・マッチング・モウル）　・鈴木輝明（海部会座長）　・松村貴晴（愛知県水産局）　・石田俊朗（愛知県水試）　・岡田誠（三重県水産研）　・洲崎燈子（豊田市矢作川研）

■山村ミーティングと森づくりガイドラインの協働（山部会 丹羽 副座長）
・ 2023 年７月 20 日に流域３県４森林組合（根羽村森林組合、恵南森林組合、豊田森林組合、岡崎森林組合）の現場森林技能者が集まり「第１回矢作川流域現場森林技能者合同交流研修会」を実施しました。その内容を広く知っていただくために「森の人をつなぐ」をとりまとめました。
・ 今後さらに情報発信していくために増刷を提案しました。

■森づくりガイドライン（山部会 蔵治 座長）
・ 水循環基本計画に定められた森林の雨水浸透能力または水源涵養能力の整備の新たな施策の方向性について、これまで進めてきた「流域治水」から、流域単位での水力発電の増強や上下水道施設の再編等による、省エネ化を推進し、流域で治水とカーボンニュートラルに取り組み「流域総合水管理」に進化することを情報共有しました。
・ 矢作川流域圏の間伐・皆伐面積の実績データを整理し、経年変化をグラフで示しました。間伐面積は、全体量として少し変動していますが、近年とほぼ横ばいの結果でした。

■木づかいガイドライン（根羽村森林組合 石原 参事）
・ 根羽村の木材の利用状況や活用事例が報告されました。チッパーの導入により未利用材のチップ化が可能となり木質バイオマス発電所への販売を進めていることや木の糸プロジェクトとして、KINOF タオルやジャケットの制作事例が紹介されました。

◆話し合いでの主な意見　（・意見　➢回答）

【テーマ別の活動進捗状況の報告】

1．流域圏担い手づくり事例集

- 7/6～7/7 に、事例集の作成に関わった方々と事例集交流会を開催する。当日の開催案内を後日、事務局から連絡する。（近藤）

2．山村ミーティングと森づくりガイドラインの協働

- 「森の人をつなぐ」を参考に、流域あるいは豊田の林業者の取り組みが正しく理解されればよいと考える。そのために、今後増刷をしていきたいと考える。（丹羽）
  - ➢ 配布に必要な部数を関係者に確認し、増刷する。（事務局）

3．森づくりガイドライン

■新たな水循環施策の方向性について
- ➢ 「流域治水」から「流域総合水管理」という言葉への転換は極めて大事なことである。「治水」とは水を治めることであり、人口が減少する様々な地域においても「治水」という観点で見てしまっており、水管理という言葉を主流化していく必要がある。（近藤）

■矢作川流域圏の間伐・皆伐面積について
- ➢ 豊田市の中でも、流域治水の話がある。その中でも間伐の話にはならず、想定より多い雨量が生じ、雨水処理への対応に力が注がれている。山への対応まで行きついていないのが現状であるため、山を適切に管理すれば雨水の対策にもつながることを伝えていきたい。（小山）

4．木づかいガイドライン

■これからの木づかいガイドラインについて
- これまで主として根羽村森林組合の取組が紹介されていたので、今後何らかの形で木づかいガイドラインを作成することを検討してほしい。（洲崎）
  - ➢ 過去に根羽スギを使って懇談会で作った成果品がある。一度振り返って何かを作成すると良いのではないか。（近藤）

■木づかいに関する情報共有の場について
- ➢ 情報共有する場があると良いと思う。（近藤）

■木材の取引や活用について
- 根羽村からは長野県内の工務店とやり取りをしており、岐阜、愛知などの下流地域との取引はない。（石原）
- 岡崎市で木材を買いたくても買えない事象があった。それはなぜだろうか。（鈴木）
  - ➢ 豊田市では、都市部で豊田市産材を求める人はそこまでいない。若い世代が家を建てる頃にはまだそこまで意識していないのが現状であり、せっかくなら豊田市の木材を使いたいと言われる工務店は、少しある程度である。広めるにしても在庫を誰が抱えれるのかという課題がある。（小山）
  - ➢ 根羽村については、県産材の壁があるのではないだろうか。（丹羽）
  - ➢ 流域圏内であっても県外であるため評価できないという事象は実際にあり、流域界と県界には違いがある。（近藤）

今後の予定

次回の山部会WG・FWは、令和６年７月26日（金）～27日（土）恵那市にて開催します。

◆お問合せ◆
矢作川流域圏懇談会 事務局
〒441-8149　愛知県豊橋市中野町字平西 1-6　国土交通省 豊橋河川事務所　事業対策官 蔭山、係長 小池、技官 中野
TEL 0532(48)8107
＊矢作川に関する情報は、国土交通省 豊橋河川事務所 流域治水課（cbr-toyo-chousa1@mlit.go.jp）までお送りください。

矢作川流域圏懇談会通信

R6 フィールドワーク vol.1

発　行　日：令和６年６月
編集・発行：矢作川流域圏懇談会 事務局

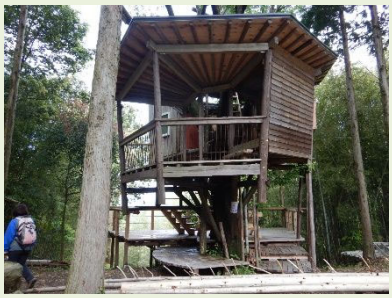
◆東萩平町 さくら村ツリーハウス視察

今回は豊田市旭地区の東萩平町で行われている、「ガキ大将養成講座」の拠点である さくら村において、完成したツリーハウスを見学しました。

今回完成したツリーハウスは、さくら村のシンボルである山桜に巻き付くような形で作られており、特別な設計がされたことを説明いただきました。

日　時：令和６年６月１日（土）　9:30～11:30
場　所：東萩平町　さくら村ツリーハウス
案　内：安藤征夫氏 （あさひガキ大将養成委員会）
参加者：15 名（事務局を含む）

◆フィールドワークの記録



ツリーハウスに使用している材木は基本的にすべてさくら村で伐採した木を使用しています。

さくら村の会員になった子ども達は、親が口出ししてしまいそうなことも全てやらせ、自分の身は自分で守るという心を学ばせる。さらに学んだ子どもが今度は先生となり、また子どもに教えることで繋いでいくと紹介されました。

月２回の作業日を中心に、子ども達や大学生が力を合わせて、およそ９年かけてツリーハウスの完成に至りました。

ツリーハウスに限らず、子ども達自らで作成した遊具や展望ウッドデッキもご紹介いただきました。

◆森づくりシンポジウム 「豪雨からはじまった市民の森づくり」聴講

「豪雨からはじまった市民の森づくり」と題して、近年の豪雨災害と森林の関係や豊田市の森づくりについて、蔵治光一郎氏と小山剛氏に講演をいただきました。また、鈴木公平氏、丹羽健司氏、山本薫久氏、洲崎燈子氏を加えて、パネルディスカッションを行いました。

矢作川水系森林ボランティア協議会の発足までの歴史等、当事者たちからしか聞けない当時の話を伺うことができました。

日　時：令和６年６月１日（土）　14:00～17:00
場　所：豊田市 崇化館交流館 大会議室
出演者：鈴木公平氏、蔵治光一郎氏、丹羽健司氏、山本薫久氏、
　　小山剛氏、洲崎燈子氏
参加者：18 名（事務局を含む）

◆お問合せ◆
矢作川流域圏懇談会 事務局
〒441-8149　愛知県豊橋市中野町字平西 1-6　国土交通省 豊橋河川事務所　事業対策官 蔭山、係長 小池、技官 中野
TEL 0532(48)8107
＊矢作川に関する情報は、国土交通省 豊橋河川事務所 流域治水課（cbr-toyo-chousa1@mlit.go.jp）までお送りください。